

幌延町公共施設等総合管理計画を策定しました

公共施設等の老朽化対策は、全国的に大きな課題となっており、幌延町においても施設は徐々に老朽化し、今後、施設の維持管理や更新等に膨大な費用が必要になります。また、人口減少と少子高齢化により厳しい財政状況になることが予想されます。

町の保有する公共施設等の現状と将来の見通しを把握し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、平成29年3月に幌延町公共施設等総合管理計画を策定しました。



【対象施設】

計画の対象施設は、建築系公共施設と土木系公共施設で、町が保有する公共施設等です。

- 建築系公共施設（ハコモノ）… 庁舎、認定こども園、学校、公営住宅など
- 土木系公共施設（インフラ）… 道路、橋りょう、上・下水道、公園など

公共施設等を取り巻く課題

【公共施設等の現状】

町が保有する建築系公共施設は、221棟、72,855㎡です。建築後30年以上経過している建築系公共施設の割合は約35%を占めていますが、10年後には約6割となり老朽化が進みます。

土木系公共施設は、道路が約276km、橋りょうが約1.9km、上水道が約144km、下水道が約15kmなどです。

建築系公共施設の築年数別延床面積割合

【更新費用の見通し】

建築系公共施設、道路、橋りょう、上・下水道の今後40年間に掛かる更新費用の総額は633億円で、年当たり15.8億円となります。また、平成23～27年度までの投資的経費の実績は年平均10億円のため、年当たり5.8億円が不足しますので、今後1.6倍の金額が必要となる見込みです。

更新費用の施設別割合を見ますと、建築系公共施設が最も高く全体の約5割を占めており、既存の施設を全て更新していくことは困難になることから、施設総

